

SIRE

サイア

9

平成18年9月15日号
2006 September
Vol.360

CONTENTS

北海道内の黒毛和種雄牛の
育種価が公表されました!!

2

現地だより

T-WAVA HOLSTEINS 山田 敏明さん

6

ジエスロ セカンドクローブ娘牛が
第14回 北海道総合畜産共進会に
数多く出品される!!

8

♂が♀より多く産まれて来るのはなぜ?

10

繁殖放談

気になる未経産牛の受胎率

12

新規牛紹介

JP3H52585 ライスクレスト ヒルトン ET

15

事業所だより

16



JP3H52585 ヒルトンの娘牛

(左より)スプリング プライティア

別海町西春別／大内 敏光氏 所有 母の父／スパイクファーム マクリントック

ジャリツチ ヒルトン マンフレッド

雄武町／中川 重美氏 所有 母の父／ティーティークイーンズマナー マークスマン ET

Hazama
ホリスティクス

北海道内の黒毛和種種雄牛の育種価が公表されました!!

北海道育種価の中で上位にランキングされた本団種雄牛について説明いたします。

JB-24 北乃大福

本団育種価(脂肪交雑基準値)のトップになる種雄牛が『北乃大福』です。

本牛の育種価公表以来、常に上位にランキングされております。

本牛は現場後代検定を終了した種雄牛で、20頭の産肉能力成績は上物率で90%と驚異的な成績を持っております。

全国和牛登録協会主催の現場後代検定合同調査会でBMS NO.12が出たことが発端となり、注目を集め始めました。

本牛は鳥取県生れで、岐阜県の名牛『安福』を父に、二代祖に『谷美土井』、更に三代、四代祖には『田森土井』、『菊美土井』と純粹兵庫の系統です。

母方は『みつふく』の系統であり、数多くの種雄牛を輩出している著名な家系です。

本団種雄牛の『福富』、『北照長』、『都丸』などのほか『美津福』、『牛若丸』が同母系となります。

『北乃大福』の大きな特徴と言えば脂肪交雑に優れ、ロース芯面積大きく、バラの厚さに期待できることです。

現在は、道内市場をはじめ、全国の子牛市場でその子牛たちが上場されております。

H黒-80 北平安

『北平安』は、平成15年1月に終了した間接検定で脂肪交雑 3.1、ロース芯面積 50cm²、DG 0.91と、当時の平均を上回る成績で、かぶりの厚さ、ロース芯面積の大きさに注目を集めました。

本牛の血統は、父に宮崎を代表する『安平』で、母『てるふく3』は『菊照土井』の産仔であり、母の両親とも『菊則土井』の流れを汲む、純粹但馬の血統であります。

本牛が注目を集めたのは、平成15年開催の「ふらの和牛共励会」で、なみいる著名牛を押さえ最優秀賞、優秀賞(2頭)を獲得したことでした。

共励会では間接検定同様、脂肪交雑の良さ

に加え、ロース芯面積の大きさでも注目を集めました。

以後、北海道を代表する種雄牛として子牛市場に多く上場され、売買されております。

また、平成19年10月11日～14日に鳥取県で開催される、第9回全国和牛能力共進会において、第2区(若雌 14～17ヶ月未満)と第9区(去勢肥育牛)の候補種雄牛になっております。

今年の秋以降に枝肉成績が順次出てくることから、全共第9部へのステップアップとなる様、期待されております。

H黒-45 東龍

『東龍』といえばご存知のように島根県を代表する父『第7糸桜』と、岐阜の名牛『安福』の代表的な娘であり、三重県を代表する雌牛でもある母の『第9はなのき』の交配によって増体と肉質と両方向の改良目標を持って作出された種雄牛であります。肉質の良さは脂肪交雑の育種価ランキングと共励会の賞歴(別紙)で証明されています。

さらに、脂肪の質の良さや風味の良さ、モモ抜けの良さに関しても高評価を頂いております。

枝肉重量に関しては、増体系雌牛に交配することによって安定した成績が期待されております。気高系の母体が増えてきた今こそ『東龍』本当の旬がきているような気がします。

- ・平成15年 第15回いわて牛枝肉共励会 優良賞
- ・平成15年 北海道枝肉共励会優秀賞2席
- ・平成15年 第5回全農肉牛共励会牝の部 最優秀賞
- ・平成16年 第6回全農肉牛共励会牝の部 優良賞
- ・平成16年 岩手ふるさと農協 第8回前沢牛女性部枝肉研究会 優秀賞
- ・平成16年 東日本地区開拓牛枝肉共進会 最優秀賞(F1)
- ・平成17年 全国肉用牛枝肉共励会 最優秀賞(F1)

H黒-93 北茂安 93

『北茂安93』は、父に『平茂勝』、母『やすひめ2』は岐阜県の『安福』の娘であり、二代祖『ふくはた3の5』は、『静』の代表的娘牛です。

三代祖『ふくはた3』は、『気高』の孫である『晴美』のきょうだい交配産仔となっております。

四代祖の『ふくはた6』は島根県仁多郡より導入された気高系『晴美』の娘という血統構成になっており、それぞれ道内の雌牛育種価において高く評価されて、注目を集めておりました。

『北茂安93』は、『平茂勝』の体積と『安福』の高い産肉能力を目指して作出された種雄牛です。

本牛は平成16年12月に現場後代検定を終了し、上物率72.2%と良好な成績を示しました。

さらに、平成16年度の北海道枝肉共励会で優良賞に輝き、第1回の本団黒毛和種枝肉共励会でもBMS NO.10の枝肉が出陳されるなど、バランスの良い枝肉が出陳されております。

また、『北平安』同様、来年の全共の第2区(若雌 14~17ヶ月未満)と第3区(若雌 17~20ヶ月未満)の候補種雄牛にもなっております。

今後、産仔を目にする機会も多くなりますので、ご注目ください。

H黒-122 北勝晴 22

『北勝晴22』は、『平茂勝』の息子牛の1頭であり、去勢12頭、雌12頭の現場後代検定成績では枝肉重量450kg、ロース芯面積52cm²と良好で、さらに、枝肉の張り、モモ抜けの良さは特筆に値する内容であり、その評価が、育種価評価ランキング上位の要因と思われれます。

血統は『平茂勝』を父に、岐阜県の『安糸晴』が母方祖父になります。

本牛の母『やすか』の母は本団種雄牛『東龍』の母である『第9はなのき』であり、岐阜県『安福』のきょうだいにより、優良遺伝子が固定され、質量兼備の高い産肉能力を現わしていると思われれます。

H黒-96 北茂勝 96

『北茂勝96』の系統起源は、山陽型の地底重厚で、やや堅実的な体躯構成ぎみの広島県神石産牛に、『第2横利』(第十八中森のきょうだい交配)の娘と息子『神鉄8の6』のきょうだい交配によって誕生した4代祖『もりきく』に遡ることができます。

3代祖『ぜんぎく』は茂金波産仔の『富光』の娘であり、2代祖『ぜんおく』は中土井系の『奥秀』の娘となっております。

母『ぜんおく6』は、『茂重波』の娘で、父『茂勝』は、『茂重波』の代表的な息子牛であり、岩手県九戸郡で計画的なきょうだい交配によって生産されたのが本牛であります。

本牛の体型は、母系から受ける重厚さに加え、特に肋付きとサイズはもちろんのこと、尻の形状、寛骨の位置は理想的と言えます。

去勢16頭、雌5頭の現場後代検定成績は、上物率71.4%と良好な成績でした。

一般市場出荷材料牛からもBMS NO.12が輩出されてており、枝肉の張り、ロース芯の形状・面積とも高評価をうけている種牛性にも優れた種雄牛です。

H黒-105 北茂栄 5

『北茂栄5』の間接検定成績は、脂肪交雑 2.9、DG 1.09、枝肉重量 389kgと良好であり、今回の育種価は同時期の材料牛18頭で評価されました。この18頭の上物率は72.2%と好成績でした。

血統は、父『平茂勝』、母の父は岐阜県の『安福』となっており、同じかけあわせの種雄牛が多く存在している中で、母『ちずる』は『福栄』の全きょうだいであり、フィールドにおける産肉能力評価を後押ししているものと思われれます。

H黒-101 北勝福 1

『北勝福1』もまた、父が『平茂勝』、母の父が岐阜県の『安福』と言うかけあわせの種雄牛です。

現場後代検定成績の上物率は60%でしたが、非常に種牛性と産肉能力のバランスの良い種雄牛であります。

全共の第7区(総合評価群)の種雄牛として選抜され期待されております。

本牛は3代祖の父『新月』を彷彿させる体型的な印象であり、『新月』と但馬系の雌との交配産仔は肉質が優れていると言う評価でありました。

本牛の現場後代検定の成績も但馬系との相性が良く、『新月』との共通点が伺えます。

(改良部 肉牛改良課 石田 誠)

平成18年7月 北海道 黒毛和種 種雄牛育種価一覧表 (脂肪交雑で上位100位以内、ジェネティクス北海道種雄牛のみを掲載)

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父牛	枝肉重量		ロース芯面積		バラの厚さ		皮下脂肪厚		歩留基準値		脂肪交雑基準値		近交係数 (%)	産肉成績 (頭)	
						育種価 (kg)	正確度	育種価 (cm ²)	正確度	育種価 (cm)	正確度	育種価 (cm)	正確度	育種価 (%)	正確度	育種価	正確度			
2	JB-24	北乃大福	11	安福	谷美土井	谷美土井	22.194	0.907	14.640	0.889	1.170	0.873	-0.382	0.901	2.931	0.902	2.240	0.904	10.9	20
7	H黒-80	北平安	10	安平	菊照土井	菊照土井	-0.468	0.835	10.905	0.812	0.499	0.793	-0.751	0.828	2.572	0.829	1.951	0.831	0.0	11
9	H黒-45	東龍	6	第7糸桜	安福	安福	36.337	0.911	8.498	0.894	1.080	0.879	-0.291	0.906	1.712	0.907	1.916	0.908	0.0	26
10	H黒-93	北茂安93	11	平茂勝	安福	安福	67.738	0.887	0.070	0.867	1.242	0.851	-0.528	0.881	0.496	0.882	1.884	0.883	0.0	19
19	H黒-122	北勝晴22	13	平茂勝	安糸晴	安糸晴	61.173	0.891	3.387	0.872	0.774	0.856	-0.170	0.885	0.339	0.886	1.686	0.888	0.0	24
22	H黒-96	北茂勝96	11	茂勝	茂重波	茂重波	1.524	0.927	6.748	0.913	0.590	0.901	0.045	0.923	1.273	0.924	1.663	0.925	18.8	27
23	H黒-105	北茂栄5	12	平茂勝	安福	安福	99.094	0.882	3.957	0.862	1.043	0.846	-0.264	0.876	0.264	0.878	1.655	0.879	0.0	18
31	H黒-46	第2北福安	7	安福	静	静	5.971	0.867	6.772	0.847	0.386	0.831	-0.098	0.860	1.206	0.861	1.574	0.863	0.0	12
33	H黒-101	北勝福1	11	平茂勝	安福	安福	57.583	0.914	4.173	0.898	0.742	0.884	-0.379	0.909	0.644	0.910	1.550	0.911	0.0	30
35	H黒-85	北福栄	10	安福	菊照土井	菊照土井	7.459	0.840	6.911	0.821	0.221	0.806	-0.276	0.834	1.230	0.835	1.483	0.837	9.4	8
36	JB-7	七福神	5	谷福土井	菊照土井	菊照土井	-49.935	0.894	0.285	0.875	-0.757	0.858	-0.339	0.888	0.369	0.889	1.480	0.891	0.8	20
37	H黒-115	北平勝15	13	平茂勝	田森土井	田森土井	32.809	0.912	4.369	0.896	0.710	0.880	-0.324	0.908	0.946	0.909	1.479	0.910	0.0	29
39	H黒-103	安福6の5	11	安福	安谷土井	安谷土井	-2.844	0.824	7.047	0.806	0.217	0.792	-0.737	0.818	1.767	0.819	1.462	0.821	15.6	6
42	JB-25	第2茂波	11	茂重波	菊照土井	菊照土井	-42.659	0.905	3.005	0.887	-0.419	0.872	-0.491	0.899	1.098	0.900	1.425	0.902	0.0	24
43	H黒-63	北安福165の1	9	安福165の9	安美土井	安美土井	-6.524	0.947	13.687	0.936	0.258	0.926	-1.067	0.944	3.061	0.944	1.415	0.945	6.3	45
45	JB-16	桜糸福	6	糸福	晴美	晴美	10.752	0.851	2.260	0.827	0.408	0.807	-0.284	0.843	0.716	0.845	1.399	0.847	0.0	12
46	H黒-100	北茂桜100	11	茂重桜	糸花	糸花	6.802	0.899	9.764	0.881	0.520	0.866	-0.499	0.893	2.035	0.894	1.390	0.896	6.3	20
51	JB-3	福富	1	安谷土井	菊照土井	菊照土井	-56.292	0.986	-0.587	0.983	-0.565	0.980	-0.366	0.985	0.592	0.985	1.357	0.986	6.3	225
53	H黒-56	北照長	8	照長土井	菊照土井	菊照土井	-85.019	0.870	-3.455	0.848	-1.028	0.830	-0.657	0.863	0.446	0.864	1.344	0.866	15.6	12
54	H黒-98	北幸長98	11	幸豊土井	照長土井	照長土井	-44.663	0.819	1.584	0.791	-0.191	0.768	-0.850	0.810	1.453	0.811	1.343	0.814	7.8	9
55	H黒-61	深晴波	7	賢深	糸晴波	糸晴波	36.185	0.985	8.619	0.981	-0.257	0.978	-1.286	0.984	1.696	0.984	1.332	0.984	0.8	230
56	H黒-40	安福6の3	6	安福	安谷土井	安谷土井	5.687	0.994	9.028	0.992	0.691	0.991	-0.642	0.993	2.160	0.993	1.319	0.994	15.6	691
57	JB-17	出雲桜	8	北国7の8	糸晴波	糸晴波	39.734	0.807	3.573	0.784	0.105	0.768	-0.202	0.799	0.109	0.801	1.312	0.803	9.4	6
61	H黒-110	北乃富士10	12	鶴山土井	菊照土井	菊照土井	-35.391	0.934	1.046	0.920	-0.482	0.907	-0.749	0.930	1.002	0.931	1.272	0.932	10.2	36
63	H黒-83	北波重	10	茂重波	第7糸桜	第7糸桜	-70.233	0.897	-1.822	0.879	-0.262	0.863	-0.441	0.892	0.788	0.893	1.271	0.894	0.0	22
70	JB-23	北乃安福波	10	安福	福昌	福昌	10.526	0.843	2.952	0.831	0.368	0.804	-0.905	0.855	1.293	0.856	1.261	0.845	0.0	25
72	H黒-119	福勝8	11	茂勝	安福165の9	安福165の9	8.096	0.919	8.136	0.903	0.629	0.890	-0.718	0.914	2.104	0.915	1.259	0.916	1.2	30
74	H黒-121	北安鶴21	13	安平	安美土井	安美土井	-32.935	0.901	5.090	0.884	-0.147	0.868	-1.032	0.896	1.929	0.897	1.253	0.898	3.1	24
75	H黒-70	北安福165の9	9	安福165の9	茂重波	茂重波	-27.917	0.906	9.448	0.888	-0.388	0.872	-0.866	0.900	2.060	0.901	1.252	0.903	1.6	24
77	H黒-89	北茂福	10	茂重波	谷福土井	谷福土井	-43.426	0.875	1.488	0.855	0.068	0.837	-0.212	0.869	1.015	0.871	1.243	0.872	0.0	18
79	H黒-117S	北平茂安	12	第33平茂	安平	安平	11.524	0.887	0.401	0.867	0.504	0.850	0.275	0.880	0.039	0.881	1.240	0.883	0.0	18
80	H黒-108	北乃勝	12	平茂勝	紋次郎	紋次郎	22.534	0.913	3.399	0.896	0.583	0.881	-0.754	0.907	1.236	0.908	1.240	0.910	0.0	27
81	H黒-82	北金波1	10	茂重波	菊照土井	菊照土井	-63.353	0.847	0.678	0.823	-0.540	0.804	-0.733	0.839	1.130	0.841	1.235	0.843	0.0	12
84	H黒-90	北乃桜	9	糸光	第7糸桜	第7糸桜	1.607	0.883	5.125	0.864	0.667	0.847	-0.456	0.877	1.579	0.878	1.226	0.879	7.0	17
89	H黒-77	北福安3の5	10	安福165の9	静	静	8.878	0.905	8.592	0.888	0.548	0.874	-0.922	0.899	2.276	0.900	1.201	0.902	0.0	23
90	H黒-64	北谷雪	9	谷福土井	第2安鶴土井	第2安鶴土井	-32.819	0.944	1.266	0.932	-0.373	0.921	-0.511	0.940	0.818	0.941	1.193	0.942	4.7	44
95	H黒-49	横綱	6	糸晴波	糸光	糸光	38.150	0.873	7.667	0.853	0.107	0.836	-0.578	0.866	1.173	0.867	1.177	0.869	6.3	13

平成18年7月 北海道 黒毛和種 種雄牛育種価 形質別順位

(脂肪交雑で上位100位以内、ジェネティクス北海道種雄牛のみを掲載)

枝肉重量

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父牛	育種価 (kg)	正確度
1	H黒-105	北茂栄5	12	平茂勝	安福	99.094	0.882
2	H黒-93	北茂安93	11	平茂勝	安福	67.738	0.887
3	H黒-122	北勝晴22	13	平茂勝	安糸晴	61.173	0.891
4	H黒-101	北勝福1	11	平茂勝	安福	57.583	0.914
5	JB-17	出雲桜	8	北国7の8	糸晴波	39.734	0.807
6	H黒-49	横綱	6	糸晴波	糸光 ◆	38.150	0.873
7	H黒-45	東龍	6	第7糸桜	安福	36.337	0.911
8	H黒-61	深晴波	7	賢深	糸晴波	36.185	0.985
9	H黒-115	北平勝15	13	平茂勝	田森土井	32.809	0.912
10	H黒-108	北乃勝	12	平茂勝	紋次郎	22.534	0.913

ロース芯面積

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父牛	育種価 (cm)	正確度
1	JB-24	北乃大福	11	安福	谷美土井	14.640	0.889
2	H黒-63	北安福165の1	9	安福165の9	安美土井	13.687	0.936
3	H黒-80	北平安	10	安平	菊照土井	10.905	0.812
4	H黒-100	北茂桜100	11	茂重桜	糸花	9.764	0.881
5	H黒-70	北安福165の9	9	安福165の9	茂重波	9.448	0.888
6	H黒-40	安福6の3	6	安福	安谷土井	9.028	0.992
7	H黒-61	深晴波	7	賢深	糸晴波	8.619	0.981
8	H黒-77	北福安3の5	10	安福165の9	静	8.592	0.888
9	H黒-45	東龍	6	第7糸桜	安福	8.498	0.894
10	H黒-119	福勝8	11	茂勝	安福165の9	8.136	0.903

バラの厚さ

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父牛	育種価 (cm)	正確度
1	H黒-93	北茂安93	11	平茂勝	安福	1.242	0.851
2	JB-24	北乃大福	11	安福	谷美土井	1.170	0.873
3	H黒-45	東龍	6	第7糸桜	安福	1.080	0.879
4	H黒-105	北茂栄5	12	平茂勝	安福	1.043	0.846
5	H黒-122	北勝晴22	13	平茂勝	安糸晴	0.774	0.856
6	H黒-101	北勝福1	11	平茂勝	安福	0.742	0.884
7	H黒-115	北平勝15	13	平茂勝	田森土井	0.710	0.880
8	H黒-40	安福6の3	6	安福	安谷土井	0.691	0.991
9	H黒-90	北乃桜	9	糸光 ◆	第7糸桜	0.667	0.847
10	H黒-119	福勝8	11	茂勝	安福165の9	0.629	0.890

皮下脂肪厚

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父牛	育種価 (cm)	正確度
1	H黒-61	深晴波	7	賢深	糸晴波	-1.286	0.984
2	H黒-63	北安福165の1	9	安福165の9	安美土井	-1.067	0.944
3	H黒-121	北安鶴21	13	安平	安美土井	-1.032	0.896
4	H黒-77	北福安3の5	10	安福165の9	静	-0.922	0.899
5	JB-23	北乃安福波	10	安福	福昌	-0.905	0.855
6	H黒-70	北安福165の9	9	安福165の9	茂重波	-0.866	0.900
7	H黒-98	北幸長98	11	幸豊土井	照長土井	-0.850	0.810
8	H黒-108	北乃勝	12	平茂勝	紋次郎	-0.754	0.907
9	H黒-80	北平安	10	安平	菊照土井	-0.751	0.828
10	H黒-110	北乃富士10	12	鶴山土井	菊照土井	-0.749	0.930

十勝から新たな波を引き起こす！

T-WAVE HOLSTEINS

山田 敏明さん



幕別町の山田敏明さんは、カナダより生体&受精卵の導入を熱心に取り組んでおられます。生体輸入がストップした現在も、海外の乳牛をハーフオーナーとして所有する日本唯一の方です。

今回、取材を快く引き受けて頂きましたので、皆さんにご紹介致します。

山田敏明さんの育った幕別町はこんな所

帯広市のすぐ東隣に位置する「新」幕別町は今年の2月6日、旧忠類村と幕別町の合併により設立されました。

「パークゴルフ」発祥の地として知られており大小様々なコースがあるほか、緑いっぱいの公園や一面の花畑もたくさんあります。

町内にはナウマン象記念館に隣接したナウマン温泉や、高台に位置し、帯広の夜景が素晴らしい幕別温泉も有名です。

このように豊かな自然環境にめぐまれた幕別町は、まさに老若男女問わず誰もがリフレッシュできる町です。

山田敏明牧場の概要

牧場には現在搾乳牛200頭、育成160頭、更に和牛も20頭おります。

フリーストールと繋ぎ牛舎の併用で、牛群平均乳量は10,500kgです。

労働力は敏明さん、ご両親、従業員5名で経営を営んでおります。

酪農にのめり込んだきっかけ

偶然にも丑年の牡牛座、酪農家の息子として生まれました。

中学2年生の時、十勝管内の共進会でジュニアショウが行われ、第1部で1等賞1席になったことが酪農に関わるきっかけと成りました。

昭和59年に帯広畜産大学家畜生産科学科を卒業後、当時、ローヤル ショウなどで勝ち続けていた、カナダ オンタリオ州のテデスコ牧場で2年間の実習を積まれました。

帰国後にテデスコ牧場とメープルウッド牧場から1頭ずつ購入した乳牛が2頭ともVGを獲得いたしました。

現在もそれらのファミリーが牛群に残っており、昭和63年コピーライトの娘牛で全道共進会1等賞2席を獲得しました。

輸入牛導入&カナダ ジレット牧場とのつながり

ジュニアショウで1等賞1席になった翌年、父親が輸入牛3頭を導入したのが始まりでした。

到着が楽しみで学校を抜け出して見に行ったり、今でも克明に覚えているそうです。

平成10年、雑誌の記事に改良熱心なジレット牧場が掲載されており、是非1度見たいと思い翌年視察に行きました。

当時200頭のフリーストール牛舎と100頭の繋ぎ牛舎があり種雄牛も繋養しておりました。

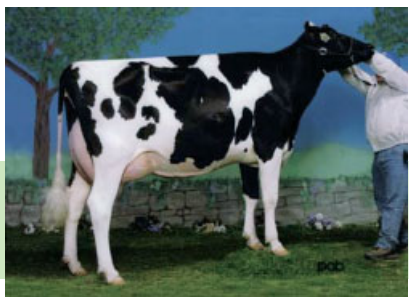
平成12年にはコムスターセールに行き、2歳でVG-87点を獲得していた ハノーバーヒル エアロラインリンを購入し、仲間とシンジケートを組みました。彼女は4歳型年検乳脂量日本記録を樹立しました。

その帰途ジレット牧場に寄り、ブライデールセカンド カット号に出会い、帰国してから、イグナイターの凍結受精卵5卵を購入しました。

この受精卵から平成14年にGT ウェーブ SC
イグナイター カナが生まれ2歳GP-84点を獲得しま
した。

この牛からは、現在多くの候補種雄牛が生産さ
れております。

カナの妹牛ジレット ブリッツ セカンド ウインド
(父 ブリッツ)3歳 VG-88点が平成16年トリプ
ルクラウン セールに出され、指を挙げ続けた結果、
トップセールで購入することになりました。



ジレット ブリッツ セカンド ウインド

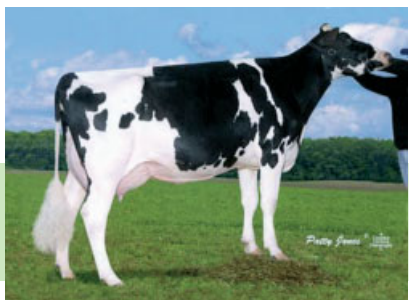
当時は既に生体が輸入できなくなっていたため、
ハーフオーナーという形式で購入致しました。

ブリッツがカナダLPI 1位になる前の話です。

加えて今年8月のLPI COW部門でも1位に
なりました。

また、この牛からもジェネティクス北海道の候補
種雄牛が誕生しております。

平成17年7月、ロツキー マウンテン ハイ セール
にてセカンド ウインドのフルシスターであるジレット
ブリッツ S カット 2歳 VG-87点を未経産でリスク
はありましたが、ハーフオーナーとして購入しました
(8月 LPI COW 3位)。



ジレット ブリッツ S カット

平成17年9月、ジレット牧場のルイ氏とマーク氏
と息子が北海道共進会を見に来た時、ケベック
スプリングショウでリザーブ インター ミディエイト
チャンピオンのジレット ジェームズ カブレラ3歳
VG-89点をセール オブ スターに出品するの
でハーフオーナーにならないかと相談を受け、今回

もまたトップセールで購入しました。

セール前に彼女の受精卵を購入しましたが、
セール後直にサミュエロで受胎し8月末に分娩し
ております。

また他にもジレット-I ダーハム ジュリコ EXの
(8月 LPI COW 5位)アレンによるアレン
ジェツシーもハーフオーナーとして購入しました。



ジレット ジェームズ カブレラ

45歳の野望

経営方針は搾乳中心であり。今の頭数のベー
スがあるからこそ共進会牛もインデックス牛も作ら
れていると考えているそうです。

この春から、ジレット牧場で1年半実習を重ねて
2年前に戻ってきた、北見管内 津別町出身の
柏葉洋治君が牧場で働いております。

今現在は投資している時期であり、これからが
勝負! という大事な時期に彼がきてくれたことは、
この牧場にとってすごくプラスになることと思えます。

将来牧場をもっと大きくして、日本のトップブリー
ダーとなるための後押しをしてくれるに違いありま
せん。

最後に

私が取材に伺ったのは8月のとっても暑い日で
した。

若いうちから頭角をメキメキ現してきた方なので、
とても緊張してインタビューに臨んだのですが、
山田さんのフレンドリーさに助けられてそんな心配
は一気に吹き飛びました。

現在農協の理事を務めており、この日も昼から
会議がありとても忙しいにも関わらず、質問にひと
つひとつ丁寧に答えて下さいました。

本当にたくさんの貴重なお話有難うございました。

(十勝北見事業所 吉岡勇氣)

セカンドクロップ

第14回 北海道総合畜産共

第14回 北海道総合家畜共進会『乳用牛部門』が、平成18年9月22(金)～24(日)安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場にて開催されます。

全道12ヶ所の管内共進会を勝ち上がったジエスロのセカンドクロップ娘牛27頭(未経産 4頭、経産 23頭、内2歳クラス 17頭、3歳クラス 6頭)が出品される予定です。

今年度より新設された、第7部 後代検定娘牛2歳クラス(36ヶ月未満 初産)は、現行実施しておりました後代検定娘牛展示&パレードを廃止し新設されました。

後代検定事業に対する理解を深めて頂き、娘牛保留対策等、普及推進を目的としております。

当クラスには、24頭の出品が予定されており、16頭のジエスロのセカンドクロップ娘牛が出品される予定となっております。

今年春の全道&各地区B&Wショウで活躍しておりました、下記、娘牛達が全道共進会への出場権を獲得致しました。おめでとうございます。

北海道B&Wショウ

2歳経産ジュニア

1等4席 ミツランド ベイビット エイミー
広尾町(有)ミックランデーリィ 所有

2歳経産シニア

1等4席 グローリーヒル シエルブ ジエスロ
帯広市(有)十勝ライブストック マネージメント 所有

3歳経産シニア

1等6席 マウントエース ロイレーン カイト
別海町 安部克寿氏 所有

道南B&Wショウ 経産最高位

ホーストデール アーティレイリィ ジエスロ マリナー
八雲町 林 聖洋氏 所有

釧路B&Wショウ 2歳シニア1位・BU

オープン クレイ ジエスロ
白糠町 伊深 洋平氏 所有



トップ娘牛が 進会に数多く出品される!!



(左より) マウントエース ロイレーン カイト
別海町/安部 克寿氏 所有
母の父/レーガンクレスト エルトン ダーハム ET

ホーストデール アーティレリイ ジェスロ マリナー
八雲町/林 聖洋氏 所有
母の父/ライルヘイブン アーティレリイ ETS

ミツクラン ベイビット マドリー
広尾町/(有)ミツクランデーリイ 所有
母の父/ハノーバーヒル リンカーン ET



左より

リバーランド ジェスロ エンゼル
岩見沢市/中澤 忠治氏 所有
母の父/オービー コスモ ET

ジェニー マーティ ジェスロ
幌延町/無量谷 稔氏 所有
母の父/ライスクレスト マーティ ET

ハーバート メイソン ジェスロ
別海町/前嶋 洋希氏 所有
母の父/シヨアマー メイソン ET

ウイングス ブロード ジェスロ
中標津町/佐々木 昭雄氏 所有
母の父/エタゾン アジソン

デイペロップ ジェスロ メリット
美瑛町/稲川 利昭氏 所有
母の父/ロツキービュー バロン ET

ロイヤルオーク ジェスロ ビューティ
置戸町/中村 信一氏 所有
母の父/ペンコール ダスター ET

チャーリー ジェスロ アイオワナ
千歳市/(農)細澤農場 所有
母の父/ジヨルリー クレツグ リード チャーリー

ノース ジェラルディン ハイライト ヘフアー
幕別町/久保田 良幸氏 所有
母の父/レーガンクレスト プレリユード テル ET

ミツクラン ベイビット エイミー
広尾町/(有)ミツクランデーリイ 所有
母の父/シエンバル NV LM フォーマーシオン ET

グローリーヒル シエルブ ジェスロ
帯広市/(有)十勝ライブストックマネージメント 所有
母の父/シエルブルック ヘスター メージャー ET

♂が♀より多く産まれて来るのはなぜ？

昨今、家畜の雌雄産み分けに関しては様々なアプローチがなされています。ヒトにおいてもそうですが、科学的に解明されていない産み分け方法も多く存在します。そもそも、雄と雌は1:1で産まれてきているのでしょうか？ 今回の話題は雄と雌の比率『性比』に関してです。

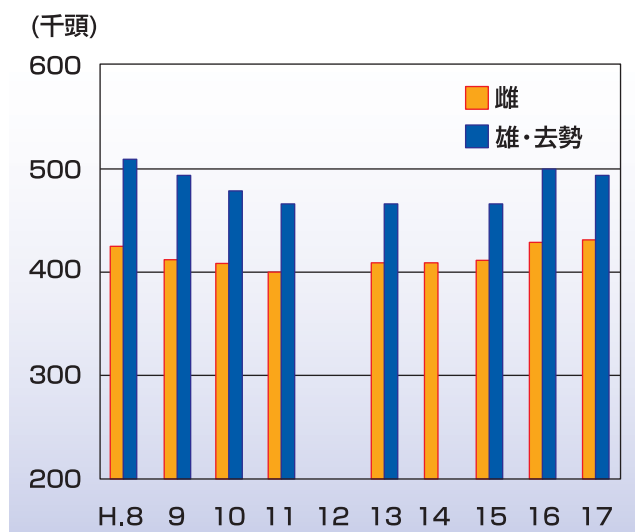
●●● ♂の数>♀の数 ●●●●

ヒトの出生時の性比をご存知でしょうか？実は女の子よりも男の子の方がわずかに多く産まれてきています。その比率は女100に対して男105(平成17年)。この数字は過去数十年にも渡りほぼ同じ値を維持しています。

これはヒトに限ったものではありません。ウシにも当てはまります。表は全国の肉用種牛(24ヶ月齢以下)の飼養頭数の推移です。これを見ると雄の頭数が雌より多いことが分かります。出荷時期や受精卵移植などを考慮すると若干の誤差はあると思われませんが、肉用種に限らず他の種においても雄の比率が高いことが明らかになっています。

何故このような差があるのでしょうか？

表. 全国肉用種飼養頭数 (24ヶ月齢以下)



注) 12年度はデータ無し

●●● ♀の栄養状態と性比 ●●●●

ジャーナル オブ デーリイサイエンスは酪農全般に関する学術雑誌です。その雑誌中で今年、興味深い論文が掲載されました。その論文とは『母牛の栄養状態が子牛の性比に影響する』というものでした。

この報告中でRocheらは泌乳期間中のボディコンディションスコア(BCS)および体重の推移と、産まれた子牛の性比との関連性を調べました。調査は1986年から2004年までの18年間で、1172頭の牛から計3209の泌乳期間についてデータを取りました。その結果…

- ◆ 出生時の性比は雌100に対して雄108前後で、雄の比率が高い。
- ◆ 分娩から次の受胎までにBCSが低下した母牛は雌を産む確率が高くなる。
- ◆ 同期間中に体重が増加または変化しなかった母牛は雄を産む傾向にある。

という結果を得ました。

彼らは泌乳期間中における母牛のBCSと体重は、産まれてくる子牛の性に影響しているのではないかと考えています。ホルスタイン種においても、出生時の雄の数は雌よりも多い傾向を改めて証明し、その性比には母牛の栄養状態が影響していることをうかがわせる報告でした。

●●● ♂と♀はどちらが有利? ●●●

『母牛の栄養状態と、子牛の性比に関連性がある』…本当でしょうか？

自然界では雄は雌をめくり、し烈な争いを繰り返します。そして、競争に勝ち残った雄のみが複数の雌と交尾を行います。強い雄のみが、自分の遺伝子を数多く子孫に残すことができるのです。一方、雌には雄のような競争がありません。競争力がなくとも子を産むことができるからです。ですが、自分が産んだ子にしか自分の遺伝子は伝わらず、子孫として残せる遺伝子の数には限りがあります(図1)。

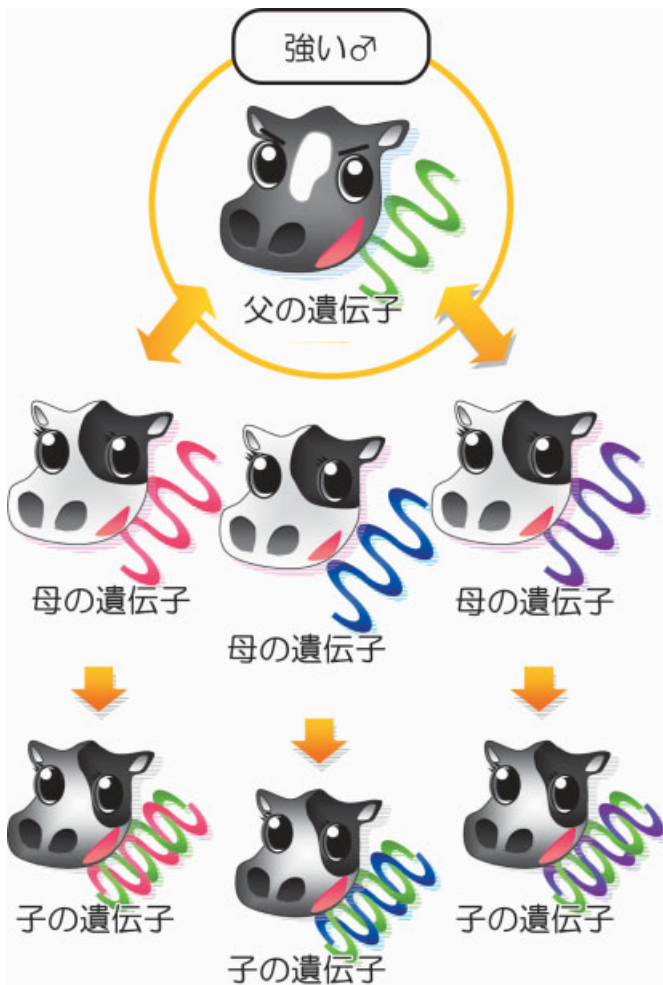
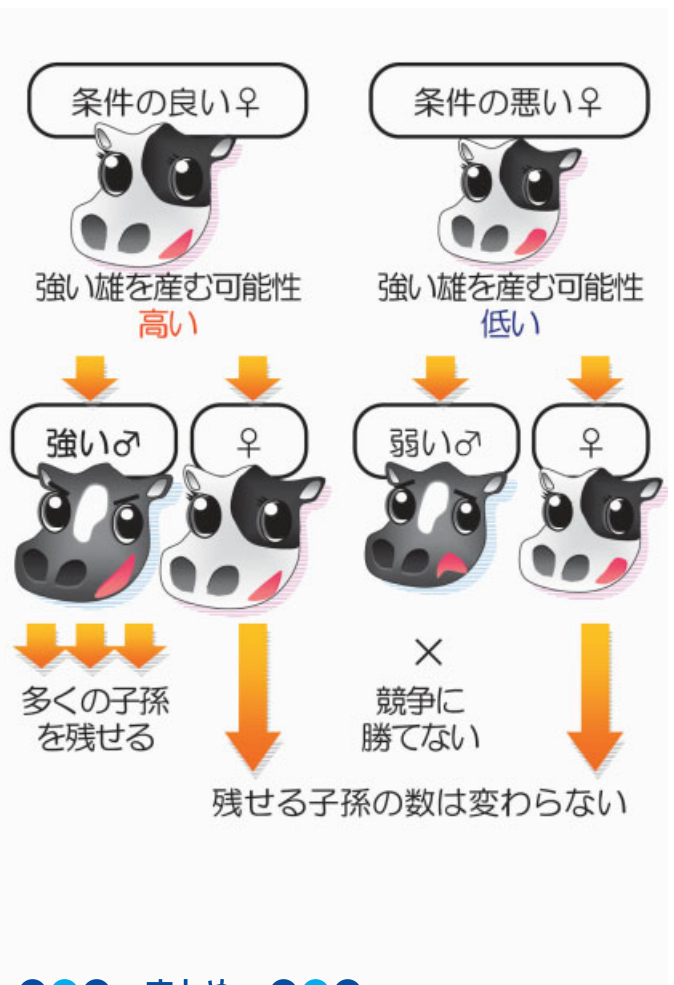


図1. 1頭の雄牛と3頭の雌牛が交尾した場合、雄の遺伝子は3頭に引き継がれるが、母の遺伝子は自分の子である1頭にしか引き継がれない。

●●● 遺伝子を残すための戦略 ●●●

Trivers とWillard はこの自然界のルールに遺伝子をより多く残そうとする雌の戦略が隠されているのではないかと考えました。彼らは栄養状態が良い雌が雄を産む理由についてこう説明しています。

哺乳類においては、栄養状態や社会的地位が良い、つまり条件の良い雌は雄を産む方が有利になります。条件の良い雌からは体の大きな強い雄が産まれる可能性が高いからです。逆に条件が悪い雌は、雄を産んだとしてもその雄は競争に勝ち残れません(図2)。進化の過程で、より遺伝子を多く残すための選択が生じたと考えられます。



●●● まとめ ●●●

「あの農家は雄が産まれることが多い」などといった話を耳にしますが、性比に関しては未だ不明な点が数多く残されています。Rocheの論文も含め、私たちは巷に流れる噂を科学的に検証する必要があるのではないのでしょうか。

(技術開発課 山崎 崇)

繁殖放談

気になる未経産牛の受胎率

帯広畜産大学名誉教授
 (社)北海道家畜人工授精師協会顧問
 小野 齊

低迷を続ける乳用牛の受胎率

昨年、北海道の中でも乳用牛の初回授精受胎率(以下、受胎率と略)が41.5%と低いある町で、酪農家戸数65戸の未経産牛受胎率が50%以下が32戸、49.2%と約半数を占めておりました。

また、40%以下が16戸、24.6%と低いことを知り、未経産牛の受胎率に関心を持ちました。

概して、未経産牛の受胎率は経産牛より高いということから関心が少ないのではないのでしょうか。

ここでもう一度、検討をしてみる必要性があると考え筆を取ることに致しました。

最近、北海道家畜人工授精師協会が平成17年北海道全地区の乳用牛、肉用牛の受胎率を取り纏めて公表致しました。

それによると乳用牛の受胎率は初回授精実頭数から妊否不明の頭数を差し引いた478,325頭の平均が48.8%となっております。

これは凍結精液の使用が一般に普及した昭和45年の54.4%以来、最低の数値となりました。

北海道は昭和61年の59.2%を最高に低下傾向がみられ、平成11年は異常気象、猛暑の影響もあり、49.2%と初めて50%を割り、広く関係者の関心呼びました。

その後1~2年持ち直したかにみえたが、再び低下し、平成16年49.7%、平成17年には48.8%となりました。

肉用牛も昭和60年67.0%を最高に平成7年まで僅かに低下傾向にありましたが、乳用牛と同様平成11年59.5%と最低の数値を示しましたが、ここ数年好転し、平成16年には63.0%、平成17年には65.0%と乳用牛とは異なる傾向を示しております。

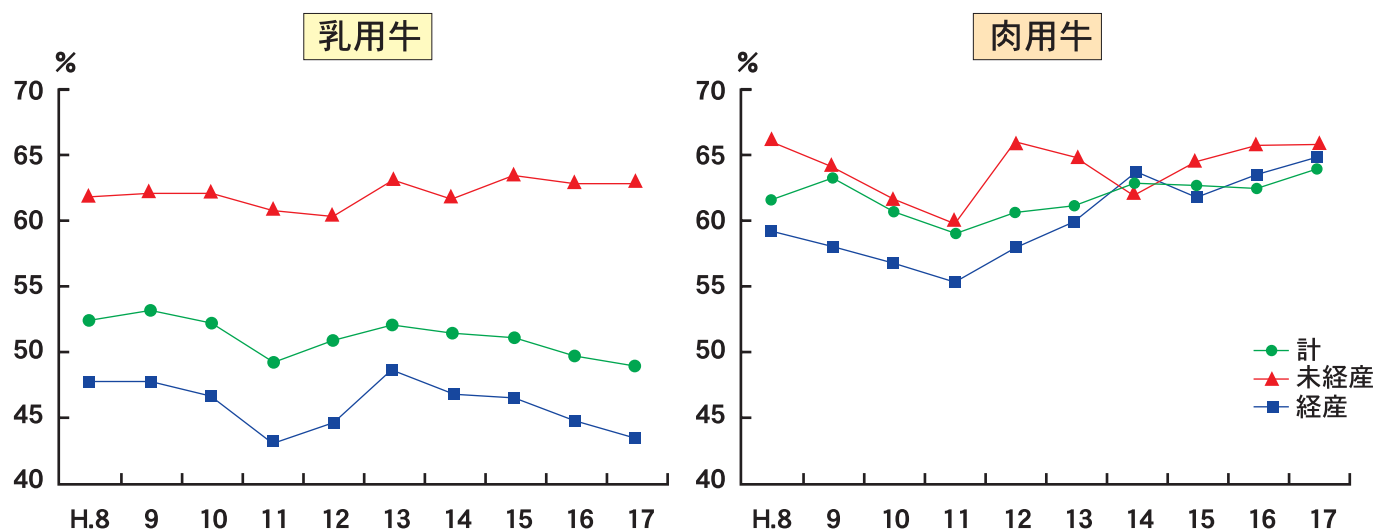
北海道家畜人工授精師協会は乳用牛については昭和25年以降、肉用牛は昭和59年以降の、北海道全域の年別受胎率を集計しております。

平成8年以降の受胎率については、未経産、経産牛、無区分そしてその計の4項目について表示してきております。

北海道の人工授精所は、NOSAI、JA、開業、市・町・村、道、国立、公立、私立、自営の各種があり、それぞれの成績が主として市・町・村ごとに、さらに支庁別にまとめられております。

図1は、北海道全域の乳用牛、肉用牛の受胎率について平成8年からの推移を示したものであります。

図1. 受胎率(初回)の推移 (北海道家畜人工授精師協会)



未経産牛、経産牛の区分実施状況に注目

問題は、未経産牛、経産牛の受胎率に関しての人工授精所ごと両者の区分実施状況であります。

遡って平成9年の状態をみてみると、乳用牛は138ヶ所中42ヶ所、30.4%が区分を実施しておりました。

年間授精実頭数は528,414頭で、この内、未経産は48,754頭で、妊否不明の257頭を差し引いた48,497頭の受胎率が62.0%となっております。

調査頭数の少なさに注目しなければなりません。

肉用牛についても、120ヶ所中36ヶ所30.0%、授精実頭数40,987頭中未経産牛は1,725頭の成績に過ぎず、受胎率は64.5%となっております。

平成12年頃までは同様に30～40%台であったが、その後、区分実施の人工授精所が増加し、平成13年には乳用牛については55.1%、肉用牛は47.2%、平成14年にはそれぞれ62.6%、62.4%、平成16年には72.3%、72.8%、となっております。

平成17年には乳用牛では115ヶ所中90ヶ所で78.2%、年間授精頭数は484,646頭、その内、未経産牛は111,229頭で妊否不明791頭を差し引いた110,438頭の受胎率が62.8%となっております。

肉用牛は102ヶ所中83ヶ所、81.3%で、授精実頭数は32,376頭、その内、未経産は5,432頭で妊否不明35頭を差し引いた5,397頭の受胎率が66.1%となっております。

この区分実施も支庁によって大きな違いがみられ、支庁管内全ての人工授精所が実施している支庁は13支庁（14支庁の内1支庁は隣接支庁に包括集計）中5支庁、他の支庁は1～数ヶ所の無区分がみられます。

ある支庁では8町村中1町村のみの成績が支庁管内の成績として示されております。

このことから支庁管内の状態を正確に現しているとはいえません。

他の支庁管内あるいは過去の受胎率との比較検討に際してはこのことを考慮にいれなければなりません。

是非、早急に全人工授精所での区分実施が望まれております。

また、気になることは妊否不明頭数の増加であります。

ここ数年、乳用牛は授精実頭数に対し0.6～0.9%でありましたが、平成16年、平成17年ともに1.3%（約6,300頭）となっております。

未経産牛は0.3%が0.8、0.7%（約800～900頭）と増加しております。

肉用牛は0.5～0.7%で大きく変化はみられませんが、未経産牛は0.4～0.5%が0.9%、0.6%（32頭、35頭）となっております。

受胎確認さらに子牛生産率についての追跡調査も今後の課題であると考えられます。

支庁別受胎率の状況

図2、図3は平成17年の受胎率を13支庁（A～M）について高いものから順に並べ、未経産、経産牛の状態を示したものであります。

乳用牛では計が50%以上の支庁は6ヶ所あり、この内、未経産牛が65%以上の支庁が5ヶ所みられました。

計が50%以下の支庁は7ヶ所あり、この内、未経産牛が65%以下が5ヶ所、また50%以下が2ヶ所みられました。

肉用牛も乳用牛と同様な傾向がみられます。

計65%以上の6支庁では未経産牛70%以上が4支庁にみられ、計65%以下の7支庁では、未経産牛の65%以下が5支庁にみられます。

支庁管内の授精頭数は乳用牛で3,663頭～125,125頭、肉用牛では667頭～8,934頭と差がありますが、頭数の多い少ないでの差は特に認められませんでした。

未経産牛については、町村によって公共牧場への預託など、飼料給与、飼養形態、授精方法などによる違いを考慮しなければならないが、いずれにしても、未経産牛の受胎率の影響の大きいことに注目しなければなりません。

受胎率の目標値

古くから人工授精による乳用牛の受胎率は1回目の授精で50%、2回目で75%、3回目で88%受胎という分かりやすい一般的な目安があります。

北海道農業共済組合連合会の家畜損防技術検討委員会が平成6年に乳用牛繁殖検診マニュアルを作成しております。

その中に人工授精データ項目から算出される数値に対する目標値として多くの項目について述べております。

未経産牛、経産牛に別け、また両者共通の項目をあげ、この中で初回授精受胎率は50%または65%以上としております。

今回示した図2、図3の支所別受胎率の状況を眺め、乳用牛の経産牛は50%以上、未経産は65%以上、肉用牛については経産牛は65%以上、未経産牛は70%以上を現在のところ取りあえず目標値として掲げることができると考えられます。

平成17年、乳用牛で未経産牛、経産牛の区分を実施している90ヶ所の人工授精所で見ると、未経産牛の受胎率が65%以上が同じく33ヶ所、36.7%であり、また60%以下が同じく33ヶ所、36.7%みられました。

肉用牛83ヶ所についてみると、未経産牛70%以上が32ヶ所、38.5%あり、60%以下が28ヶ所、33.7%みられました。

未経産牛の受胎率を上げよう

受胎成績に關係する要因は発情発見率、雌牛、種雄牛の繁殖能力、人工授精技術など多くの要因があげられますが、まず受胎成績が町村、支所によって大きな違いがみられることに注目しなければなりません。

牛群の受胎成績は経産牛の受胎成績に大きく影響されますが、1~2の例外を除き、未経産牛も同じ傾向にあり、この影響にも留意しなければいけません。

未経産牛の受胎率の低い地域ではその原因の追求が必要であります。

またここ数年、肉用牛は乳用牛と異なり経産牛、未経産牛ともに受胎率をあげておりますが、この原因についても多くの情報を集め検討が必要であります。

これらのことから受胎成績向上へのヒントを得ることも考えられます。

私は今、“繁殖成績向上は育成牛の問題から初まる”という先人の教えを振り返り、胎児期、周産期の問題も含めて、再度、栄養管理、特にビタミンAの問題から挑戦を試みております。

図2 平成17年 乳用牛受胎率（初回）支庁別
(北海道家畜人工授精師協会)

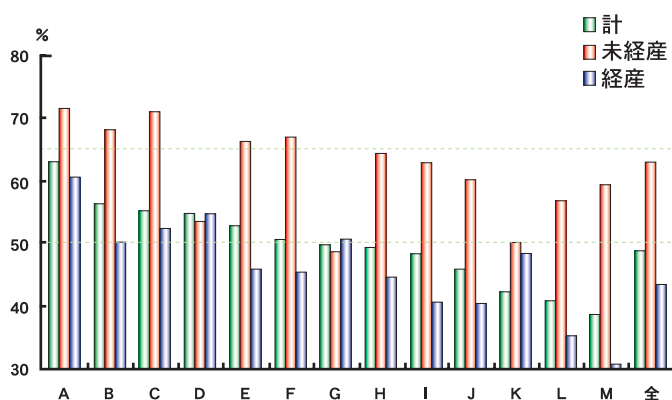
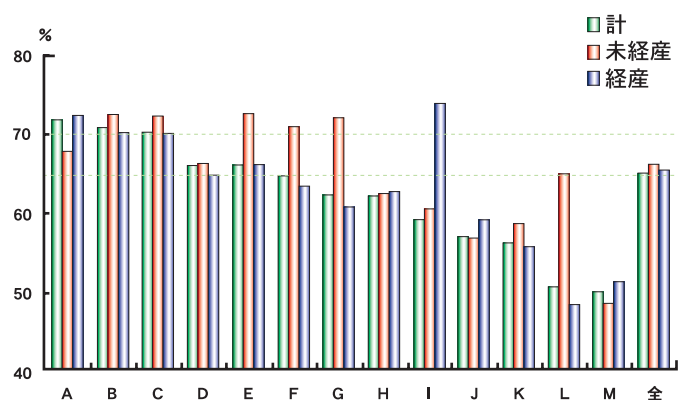


図3 平成17年 肉用牛受胎率（初回）支庁別
(北海道家畜人工授精師協会)



NEW JP3H52585 ライスクレスト ヒルトン ET

肢蹄改良 NO.1の“ハーシエル”息子牛が NTP全国 第3位で堂々デビュー

2006年8月の種雄牛評価成績において、NTP（総合指数）全国第3位にランキングされデビューした JP3H52585 ライスクレスト ヒルトン ETは、国内初の“ハーシエル”の息子牛です。

“ハーシエル”は、安定した泌乳能力と肢蹄改良効果の高さで多くの酪農家に好まれております。

また、多くのエリート カウを輩出しており、現在、種雄牛生産の母として世界中で活躍しております。

一方、ヒルトンの母系は高能力・好体型で多くの種雄牛を輩出し、現在、世界中で最も活躍著しい“ライスクレスト サウスウインド ケイ”ファミリーです。

祖母 ルーク ローレンは“ケイ”ファミリーの中でも、能力・体型のバランスに優れており、特に肢蹄において抜群の遺伝力を示しております。

母 マンフレッド ミーガンは、マンフレッドの中では、高さ・長さがあるスタイリッシュな娘牛で、マンフレッドの特徴である長命性が組み込まれ、尚且つ祖母同様に肢蹄改良に優れたエリート カウです。

ハーシエル と マンフレッド ミーガンの組み合

わせで生産された ヒルトン は、2006年8月の種雄牛評価成績でNTP全国第3位、肢蹄全国第1位（NTP トップ 40位内形質別順位）にランキングされました。

娘牛は、サイズがあり鋭角的で、胸底広く、力強さに富んでおります。

肢蹄は、蹄の角度良好で、蹄床の厚い力強い蹄に加えて、後肢の後望は平行であり、側望は多少直飛気味です。

尻の角度・寛幅と位置は理想的です。

また、乳器の付着形状良く、特に後乳房の幅・中央靭帯の強さに優れております。

能力においても、無脂固形分量 全国第2位、乳代効果 全国第3位、乳量 全国第4位、蛋白量 全国第7位と極めて高い泌乳能力を兼ね備えた、肢蹄改良のスペシャリスト種雄牛として活躍が期待されております。

交配には、ジエスロ等のジユラー系をお勧めいたします。



娘牛

左より	ロングフィールド ミックス A フタゴ 幕別町/砂田 宏行氏 所有 母の父/ルツツドース ビースター ミックス ET	テイウエーブ レディ ヒルトン レミナ 幕別町/山田 敏明氏 所有 母の父/ハーホー カビー マンフレッド ET	ジヤリツチ ヒルトン マンフレッド 雄武町/中川 重美氏 所有 母の父/ティータイクーンスマー マークスマン ET	スプリング ブライテイア 別海町西春別/大内 敏光氏 所有 母の父/スパークファーム マクリントック
-----	------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

事業所だより 各地の新鮮な情報をお届けします!!

道央北事業所

皆さんこんにちは!異常に暑かった今年の夏、皆さん&牛達、夏バテなどになっていないでしょうか?我々人間でもばてた夏、毛を着た牛にとっては更に過酷な夏だったと思います。幾分涼しくなって過ごしやすくなったのではないのでしょうか?

今回は、そんな暑さにも負けず宗谷管内で授精師として活躍されている3人の方を紹介させていただきます!

名前 秋葉 貞治

出身地 千葉県 四街道市

出身校 酪農学園大学
酪農学科



今年の3月より、JA沼川管農部酪農課で人工授精師として勤めています。入社してから現在まで、毎日が発見と驚きの繰り返しです。技術も知識もまだまだ先輩方には遠くおよびませんが、一日も早く追いつき、追い越せるように努力し、組合員の方々のお役に立てるような人工授精師になれるように頑張りますので、皆様よろしくお願ひ致します。

名前 高橋 真寿美

出身地 猿払村

趣味 音楽鑑賞・雑貨集め
誕生日 昭和61年2月11日
所属 JA北見枝幸業務部



酪農課乳牛乳質改良係
農業大学卒業後、4月から

JA北見枝幸で人工授精師として働き始めました。まだまだわからない事や不安な事もありますが、生産者の方々との会話を大事にして、技術向上・牛の勉強に力を入れていきたいと思っています。

名前 芳野 裕基

誕生日 昭和60年4月23日

牡牛座 21歳

血液型 O型

趣味 スノーモービルに乗る事・映画鑑賞



所属 JA北見枝幸業務部
酪農課乳牛乳質改良係

家畜人工授精師としてJA北見枝幸に勤め、生産者の方々やJA職員の先輩方には毎日お世話になっております。仕事に就いてからまだ数ヶ月しか経っていませんが、授精師としての知識・技術をみがきながら一生懸命頑張っていきます。

新しい人が増え、どんどんパワーアップする道央北管内です!

どうぞ宜しくお願い致します!

十勝北見事業所

全国のみなさん、こんにちは!今年は7月が曇りばかりで寒くて、このまま夏も終わりかと思いきや、逆に8月が暑すぎて困りましたね。そんな中、夏らしい話題を見つけたので紹介させてもらいま〜す。

十勝管内豊頃町の海岸に2004年3月頃からゼニガタアザラシ(☆注)が姿をみせるようになりました。名前はほところに因んで「コロちゃん」。人間が近づいても触っても逃げないので夏休み期間は毎日子供達に囲まれていた人気者です。砂浜でゴロゴロ、おしりをポリポリする姿はまるで昼寝中のオヤジそっくり!ですが、人間がくれる魚の差し入れに見向きもせず早朝から海に潜って新鮮な魚を捕って食べるという、実はやり手のようですよ。機会のある方は、ほのほのとした姿をぜひ見に来て下さいね(※)くれぐれもコロちゃんに危害を与えない・与えられないよう注意して下さい。(吉岡)



(☆注)日本では千島列島から襟裳岬など、北海道の東部に分布。絶滅危惧種に指定されている。体に輪のような模様があり、体長・体重はオスでは190cm・170kg、メスでは170cm・140kgとなる。ただし北海道ではオスは2mになるものもある。

道東事業所

皆様こんにちは!夏の暑さも峠を越え、過ごしやすくなって参りました道東です。

今回は授精師となって活躍しておられる方をご紹介します。

平成18年1月10日付けでJA標津生産部振興課に採用されました 今野 真大 25歳です。



出身は宮城県仙台市。酪農学園大学を卒業後に他の農業団体で牛に携わる仕事を経験後、授精師の免許を取得し現在に至っております。

まだまだ授精師としての技術、知識共に未熟ではありますが1日も早く組合員の皆様方に認めていただけるように励んでまいりますので皆様のご指導の程宜しくお願ひ致します。